

「更新時講習の教材の在り方の見直し案」に対する御意見及び御意見に対する警察庁の考え方について

1 教材の内容について

教材の内容については、

- ヒヤリ・ハット体験や違反・事故歴だけでなく、自動車の車検時期や任意保険の満了日など、忘れやすい情報を記入する欄を設けてはどうか。
- 状態別交通事故死者数や法令違反別交通死亡事故発生件数などのグラフを、教材の冒頭に示し、実際に発生した重大事故の原因、特に多くの運転者が重大事故につながると考えていないようなものを事例を挙げて紹介するべきではないか。
- 教材には、事故防止という更新時講習の目的がはっきりと分かるような題名を付けるべきではないか。
- 「交通の方法に関する教則」の記述に係る道路交通法の条文を、条文番号だけでなく、全文引用した方がわかりやすいのではないか。

という御意見がありました。

今回の「更新時講習の教材の在り方の見直し案」において、ヒヤリ・ハット体験、違反・事故等を記録することができるメモ欄を設けることとしているのは、更新時講習の受講者が自らの運転状況について振り返る際に役に立つと考えたためです。自動車の車検時期等のその他の情報については、教材を作成する業者において、分量とその必要性に応じて盛り込むか否かを検討すべき事項と考えております。

多発する事故の形態とそれを防ぐための安全運転のポイント等については、都道府県警察において作成される地方版資料において、各都道府県の実情に応じて盛り込むこととしております。したがって、いただいた御意見については、今後各都道府県警察を指導していく上で参考にさせていただきます。

教材の題名については、教材を作成する事業者において決めるべきものと考えておりますが、いただいた御意見を踏まえて、適切なものとなるよう、監修等の機会を通じて働きかけを行ってまいりたいと考えております。

「交通の方法に関する教則」は、法令で定める道路の交通の方法等を容易に理解することができるように作成されているものであり、わかりやすいものであることが必要である一方、今回の見直しが、昨年5月の事業仕分けの評価結果を踏まえ、受講者の負担を軽減するために行うものであることを踏まえると、関係する道路交通法の条文を全文引用することは、必ずしも適切ではないと考えております。

2 教材の分量について

教材の分量について、

- 運転免許証の更新は5年（3年）に一度の機会であり、現状を踏まえると、む

しる教材の分量を増やして、教育の徹底を図るべきではないか。

- 教材の分量は最小限にし、教材の内容については、講習の中で全て取り上げるべきではないか。
- 教材の大きさについては、事業者において選択できるようにするべきではないか。

という御意見がありました。

今回の更新時講習の教材の在り方の見直しは、昨年5月に行われた事業仕分けにおいて、コストを削減し、運転免許証の更新を受ける者の負担を下げるべきである、という指摘を受けたことを踏まえて行うものです。したがって、教材を用いて行われる更新時講習の講習効果が損なわれない範囲で、可能な限り分量を削減することにより、国民負担の軽減を図る必要があると考えております。今回の見直しにあたっては、「運転免許制度に関する懇談会」の提言の内容を踏まえて、より効果的な内容を盛り込むための工夫も行っており、全体として適切な分量になっていると考えております。

また、更新時講習の限られた講習時間を効果的に利用するため、ビデオ等の視聴覚教材を活用するとともに、講習時間中に扱うことができなかった内容について補うためにも、教材を配布することとしております。したがって、講習の中で全て取り上げることを前提に教材を作成することは適切ではないと考えております。

教材の大きさについては、講習終了後も持ち帰って、自宅又は自動車等に保管し、いつでも確認できるよう、分かりやすく、使い勝手の良いものであれば、サイズを限定することは考えておりません。

3 教材の配布方法について

教材の配布方法について、

- 教材は貸し出すことを基本として、必要な方には配布又は販売することにするべきではないか。

といった御意見がありました。

更新時講習の教材については、講習終了後も引き続き使用していただくことを考えておりますので、全ての受講者に対して配布することとしております。

4 教材の有効活用を図る方法について

教材の有効活用を図る方法について、

- 教材の内容について、更新時講習の受講者がフィードバックできるよう、連絡先を教材に記載するべきではないか。

といった御意見がありました。

地方版資料には、各都道府県警察の連絡先が記載されており、教材の内容等について御指摘があった場合には、適切に対応しているものと承知しております。